10月1日の本会議で、山本景市長の2期目の所信表明が行われました。紙幅の関係で、一部を紹介します。

山本市長の所信表明

1．はじめに

私は、先の4年間の任期のうち、交野市議会から交野市長選挙直前になって問責決議を受けました。さらに交野市職員による不正な行為等に関する第三者調査委員会からパワハラ認定を受けました。しかしながら、令和8年9月6日執行の交野市長選挙にて、交野市55年の歴史の中で、過去最多得票記録21967票にて、当選しました。交野市民の皆様は、事の本質を十分に理解しているからこのような結果になったものと考えます。

私は、先の4年間の任期にて、「みんなでつくるみんなの交野」を掲げ、交野市民の皆様の声を聞く市政をお約束し、市長とのタウンミーティングや市民説明会等を重ねて参りました。加えて、おりひめバスの導入等、着実に結果を出して参りました。

その上で、今回の交野市長選挙では、「続・みんなでつくるみんなの交野」を掲げました。先の4年間の任期と今後の4年間の任期を跨ぐ施策を完結させるとともに、新たな施策にもチャレンジして参ります。その際には、7万7000交野市民の皆様の声を公正・公平に聞いて参ります。国・府・市の連携と僭称し、内実、大阪府の傀儡となる市政を交野市民の皆様は望んでおりません。交野市民の皆様の利益を第一に考え、国や府に言うべきことを言える市政が選ばれたものと私は、考えます。それらのことを決して忘れず、己を律し、謙虚に市政運営にあたることを冒頭にお約束いたします。

2．重点的に取組む施策について

私は「続・みんなでつくるみんなの交野」として、今後4年間も引続き交野市民の皆様から頂戴したご意見を市政に反映して参ります。

今回の交野市長選挙の公約のうち、主要な公約として「物価高騰対策」「防災力強化」「おりひめバスの存続と拡充」「庁舎と公共施設のリニューアルと最適配置」「子育て支援と教育環境の改善」「財政健全化」を掲げましたので、重点施策として取組みます。

（1）物価高騰対策（中略）
（2）防災力強化（中略）
（3）おりひめバスの存続と拡充

令和7年3月23日から運行を開始し、令和8年7月から路線を改善したおりひめバスについて、大阪維新の会から赤字とのご批判を頂戴して参りました。私は、黒字・赤字ではなく、交野市民の皆様の足として、存続のみならず、利便性向上と他の施策での財源確保を実現して参ります。

利便性向上では、他のルートに比べて運行時間が短い北部ルートの運行時間を拡大します。また、主要なバス停等へのベンチ設置、ICカード利用が前提とはなりますが、複数路線を利用する方への乗継割引制度を導入します。私市駅や星の里いわふねを包含した対策について、地域公共交通会議等を経て検討して参ります。

財源確保について、他の施策での財源確保を継続しますが、地域未来交付金のみならず、地域公共交通計画を策定することで、国土交通省からの補助金確保も進めます。また、公共交通は、高齢者や障がいのある方のみならず、通院、買物、通学等、日常生活を支える重要な社会基盤であり、存続が必須と考えます。そのため、「3つの無料化」といった支離滅裂・無責任な施策は実施せず、必要な受益者への負担を求めて参ります。

（以下省略）

全文は交野市ホームページの「市長の部屋」に掲載されています。